



2016年9月29日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<http://audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106
アウディ コミュニケーションセンター

パリモーターショー2016

第2世代の Audi Q5 が登場 - さらにスポーティ、さらに多面的に進化

- 新型 Audi Q5 は 2017 年初頭に発売
- 5 種類のエンジンを搭載
- ダンパーコントロール機構付きのエアサスペンションを新設定

2016年9月29日、インゴルシュタット/パリ

アウディは、大きな成功を収めたモデルの第2世代をパリ モーターショーで発表。新型 Audi Q5 の販売は、2017 年から開始されます。この新しい SUV モデルは、アウディサルーンのスポーツ性、多面的なキャラクター、フレキシブルに使えるインテリアを見事に融合しています。同時に、コネクティビティ、効率性、ドライバーアシスタンスシステムの各分野でも、セグメントの新たな基準を再び確立しています。

「初代 Audi Q5 は、このクラスにおいて、長年に渡り世界のベストセラーSUV として成功を収めてきました。その後継モデルをデザインすることは簡単ではありませんが、我々にとっては非常にやりがいのあるチャレンジになりました」と AUDI AG 取締役会会長のルパート シュタートラーは述べています。「新型 Q5 によって、我々はこのセグメントの基準を一段高いものに引き上げました。このモデルには、ultra テクノロジーを採用した quattro ドライブシステム、きわめて高効率なエンジン、ダンパーコントロール機能を備えたエアサスペンション、インフォテイメント及びアシスタンスシステムの幅広いラインナップなど、数々の注目すべき革新技术が搭載されています。」

新型 Audi Q5 は、街中でもスポーティで緊張感のある佇まいによって、人々の注目を集めることになるでしょう。エアロダイナミクスに配慮したフロントエンドでは、彫刻的な造形のシングルフレームグリルが存在感を放っています。ヘッドライトは、LED または高輝度のマトリクス LED テクノロジーを用いた仕様が設定され、マトリクス LED にはダイナミックターンシグナルが内蔵されます。

アウディならではのデザイン： quattro ドライブをイメージ想起

サイドビューでは、特徴的なカーブと力強いアンダーカットを形成するショルダーラインが、主要なデザインエレメントとなっています。力強く強調されたホイールアーチは、 quattro フルタイム 4 輪駆動システムをイメージさせ、低いグリーンハウスが後方に向かうに従って流れるように傾斜しています。フロントと同様、リヤエンドも、水平ラインがクルマの幅の広さと存在感を強調しています。テールライトにも、オプションでダイナミックターンシグナルを装備することができます。C ピラーの部分にまで回り込んだテールゲートは、アウディの Q モデルに共通する特徴です。ディフューザーインサートには、エキゾーストテールパイプが組み込まれています。

新型 Q5 のボディカラーは、全部で 14 色を設定。装備グレードは、 sport, design, S line sport package, design selection, S line exterior package の 5 タイプが用意されています。選択したグレードによって、クルマ全体の印象はかなり変化します。 design を選択すると、ボディと対照的なグレーのアドオンパーツにより、新型 SUV のヘビーデューティなキャラクターが強調されます。 sport を選択すると、それらの部分がすべてボディ同色塗装されます。

軽量化：従来型と比べて最大 90kg の重量を削減

新型 Audi Q5 の寸法は、全長 4.66 メートル、全幅 1.89 メートル、全高 1.66 メートル、ホイールベース 2.82 メートル。従来型と比べて、ほぼすべての寸法が大きくなっています。その一方、空車重量は、エンジン仕様によって最大 90kg も削減されています。高張カスチールとアルミニウムを組み合わせることにより、インテリジェントな複合構造の軽量ボディが実現しています。

新型 Audi Q5 はまた、エアロダイナミクスの面でもクラスをリードするクルマです。エアロダイナミクスを最適化したルーフを採用することにより、4 気筒エンジン搭載モデルの Cd 値は、0.30 という素晴らしい値を達成しています。ウインドウノイズや振動も低く抑えることに成功し、インテリアの静粛性の面でも、クラストップレベルを実現しています。

ワイドで広い室内：インテリア

5 人の乗員のための広いスペースが確保されたインテリアは、主要な寸法において、従来モデルや競合モデルをしのぐ値を達成しています。水平基調のラインにより、幅広く快適な雰囲気が生み出され、インストルメントパネルを左右に横断するトリムストリップが、印象的な 3 次元のラインを描いています。新しい装備グレードのコンセプトにより、お客様は幅広いカラーや素材を選択できるようになりました。

高効率な新しいエアコンディショナーは、2 つの仕様が用意されています。3 スポークマルチファンクションステアリングホイールが全モデルに標準装備され、ステアリングホイールヒーターといった新機能もオプション設定されます。シートには、空気圧式マッサージ機能も用意されています。オプションのアンビエントライトを装着すると、30 種類の異なるカラーにより、魅力的な雰囲気を演出することができます。インテリアには、細部に至るまで決して妥協しないクラフトマンシップが貫かれています。

新型 Audi Q5 のリヤシートは、3 分割式です。オプションで、前後スライド及びシートバック角度調整機能を追加することができます。ラゲージコンパートメントの容量は、リヤシートの位置によって 550~610ℓ が確保されており、従来型モデルと比べて 10ℓ 増加しています。リヤシートを完全に折りたたむことで、この容量は 1,550ℓ にまで増やすことが可能です。さらに、標準装備される可変折り畳み式マット、オプション設定されるパワーテールゲートのセンサーコントロール、同じくオプションのエアサスペンションを介した車高調整機能などにより、荷物の積み降ろしも容易になっています。

シンプルで分かりやすい：操作系/ディスプレイ

新型 Audi Q5 は直観的に操作することが可能で、3 つの革新的な新機能は、技術的にも注目に値します。そのうちのひとつ、オプション設定されたアウディ バーチャルコックピットは、高解像度の 12.3 インチスクリーン上に、鮮明なグラフィックを映し出します。ドライバーは、2 種類の基本画面から選択することができます。一つは、大型の 2 つのメーターが表示されるクラシックビュー、もう一つは、ナビゲーションマップや各種リストが広い面積を占めるモードとなります。やはりオプションのヘッドアップディスプレイは、主要な情報をフロントウィンドウ上に映し出します。

センターコンソールに設置された MMI ターミナルは、操作系の中心的な役割を果たします。最上級のインフォテイメントシステム、8.3 インチディスプレイを装備した MMI タッチ付 MMI ナビゲーションプラスを選択すると、タッチパッドがロータリープッシュボタンに組み込まれます。タッチパッドを指でなぞって、文字を入力したり、スマートフォンのように画面のズームやスクロールを行うことができます。新型 Q5 が AT 仕様の場合には、触感フィードバックを備えた大型の MMI オールインタッチが装備されます。

最新世代の MMI には、今日のスマートフォンと同様のフラットな構造に基づいた操作ロジックが採用され、インテリジェントなフリーテキスト検索機能などにも対応しています。また、新しいボイスコントロール

ール機能は、日常的な会話も認識します。マルチファンクションステアリングホイールプラスは、MMIの補助的な操作装置として機能します。その他、新開発されたヘッドアップディスプレイもオプション設定されています。ヘッドアップディスプレイの情報には、ドライバーアシスタンスシステムに関するものも含まれており、その内容は、素早く読み取ることができるシンボルや数字で表示されます。

アウディ ナビゲーション：パーソナル ルートアシスト

新型 Audi Q5 には、最新世代の Q7 や A4 と同様、学習機能を備えたパーソナルルートアシスト機能が搭載されています。この機能を起動させると、ナビゲーションシステムが、お客様が日常的に使うルートや目的地を学習して、その情報を駐車した場所や時間と関連づけていくようになります。

この機能が有効になっている限り、たとえナビゲーションを利用していない場合でも、システムはドライバーの運転行動から学んで、その情報を次回のドライブのルートプラン提案に活用します。ナビゲーションシステムは、到着時間と現在の交通状況の両方を考慮して、もっとも可能性のある3つの目的地を算出します。例えば、システムからドライバーに対して、ナビゲーションシステムを作動させて別のルートも探すように提案が行われる場合があります。この機能を有効にするかどうかは、あくまでドライバー次第です。お客様はまた、保存した目的地を消去することもできます。もし機能をオフにした場合は、システムは目的地を記録しなくなり、消去された目的地や走行ルートを考慮しなくなります。

LTE を介してオンラインに：MMI ナビゲーションプラス

MMI ナビゲーションプラスを装備すると、Audi connect モジュールを介して、LTE モジュールと Wi-Fi ホットスポット機能を利用することができます。これにより、新型 Q5 の乗員は、最大 8 台のモバイルデバイスを使って、インターネットに接続することが可能です。クルマにあらかじめ搭載された SIM カード（定額制の Audi connect SIM）を使用することで、ヨーロッパ域内であればローミングサービスに接続して、数多く用意された Audi connect サービスを利用することができます。さらに、お客様が希望すれば、魅力的な価格で、ヨーロッパ域内でのローミングを含めて、Wi-Fi スポットを自由に使うためのデータパッケージを購入することも可能です。

無料の Audi MMI コネクトアプリを使えば、クルマとスマートフォンもしくはスマートウォッチを接続して、様々なサービスを利用することができます。これらのサービスには、重要な車両データの遠隔チェックや、オンラインメディアストリーミング、スマートフォンから MMI への予定表の転送などが含まれています。

ハイエンドオプション：インフォテイメント モジュール

アウディ フォンボックスは、ケーブルなどを使用せずにスマートフォンと車載アンテナを接続して、受信感度を改善します。また、Qi 規格に基づいた非接触充電により、スマートフォンのバッテリーを充電することもできます。また、革新的な 3D サウンドを実現したバング&オルフセン サウンドシステムは、空間的な高さまで音響で再現することが可能です。また、新しいアウディ タブレットは、柔軟性の高いリヤエンターテイメントデバイスです。アウディ スマートフォントーフェイスにより、新型 Q5 でも Apple CarPlay と Android Auto が利用できるようになりました。

ドライバーアシスタンス及びセーフティシステム

幅広いハイテクオプションを用意した新型 Audi Q5 は、ドライバー アシスタンスシステムの面でもセグメントをリードする存在です。複数のシステムをインテリジェントに連携させることで、将来の自動運転に向けた新たなステップを踏み出しています。新型 Audi Q5 シリーズにおいて、アシスタンスシステムは、Tour、City、Parking の3つのパッケージにまとめられています。

予測効率アシスタントは、クルマの周囲の状況についての情報を提供することで、燃費を向上させる運転

をサポートするシステムです。トラフィック ジャム アシスト機能を加えたアダプティブ クルーズ コントロール (ACC) は、渋滞中の道路において、ステアリング操作の一部を受け持ちます。オーディ アクティブ レーンアシストは、車線の維持をサポートします。ディスタンス ウォーニング アラートは、先行車との距離が近づきすぎたときに、ドライバーに注意を喚起します。

クロス トラフィック アシスト リヤ、エグジット ウォーニング システム、衝突回避アシスト及びターンアシストのいずれも、乗員の安全をサポートする新機能です。オーディ プレセンスも同様の役割を果たします。全モデルに標準装備されるオーディ プレセンスシティは、歩行者や他の車両に関する警告を送るとともに、システムの限界範囲内で、自動的な緊急ブレーキを作動させます。その他、パークアシスト、カメラを利用した道路標識認識システム、ヒルディセントアシストなども注目すべき安全機能です。

5 種類のエンジン：TDI 及び TFSI

新型 Audi Q5 には、ヨーロッパで発売時、いずれもパワフルで効率的な 5 種類のエンジン (4 タイプの TDI と 1 タイプの TFSI) が搭載されます。これらのエンジンは、従来型に対してパワーが最大で 20kW (27hp) 向上した一方、燃料消費量は大幅に削減されています。特に、110kW (150hp)、120kW (163hp)、140kW (190hp) の 3 つの出力レベルで提供される 2.0 TDI エンジンは、高効率なエンジンに仕上がっています。

その一方で、2 タイプが設定されたトップエンジンは、ハイパワーと高効率を巧みに融合しています。そのうち、従来のものから大幅に改良された 2.0 TFSI は、185kW (252hp) の最高出力を発生する一方で、100km 走行あたりの燃料消費量は 6.8ℓ に抑えられています。これは、CO2 排出量にすると 154g/km に相当します。同様に、今回大幅な改良が加えられた 3.0 TDI の最高出力と最大トルクも、それぞれ 210kW (286hp)、620Nm に向上しました。

多用途かつ効率的：ドライブトレイン

新型 Audi Q5 には、6 速マニュアルトランスミッション、7 速 S トロニック、8 速ティプトロニック (3.0 TDI 専用) が設定されています。これらのドライブトレインは、新型 Audi Q5 のために、全面的に設計が見直されました。2 つのオートマチックトランスミッションには、燃料消費量を削減するためのフリーホイール機能が採用されています。ギヤの選択は、シフトレバーのほか、ステアリングホイールのシフトパドルでも行うことができます。いずれの場合も、制御シグナルはワイヤーを介して電子的に伝えられます。

ultra テクノロジーを採用した新しい quattro システムが、120kW (163hp) 及び 140kW (190hp) 仕様の 2.0 TDI、185kW (252hp) の 2.0 TFSI エンジンを搭載した新型 Audi Q5 に標準装備されます。また、110kW (150hp) 仕様のエントリーレベルの TDI エンジンを搭載したモデルにも、オプション設定されます。ultra テクノロジーを採用した quattro システムにおいて、リヤアクスルは、必要がない場合は常に駆動系から切り離され、必要に応じて予測的に連結されます。この新しい方式により、トラクションやドライビングダイナミクスを損なうことなく、燃費効率を改善することに成功しました。

トルクベクタリングシステムにより、FWD (前輪駆動) バージョンでも、quattro バージョンでも、洗練されたハンドリングが実現しています。このインテリジェントなソフトウェアは、常にダイナミックかつ正確で、コントロールしやすいハンドリング特性を提供します。V6 エンジンの 3.0 TDI を搭載したトップモデルでは、オプションでスポーツディファレンシャルも選択可能です。このシステムは、必要に応じて左右後輪間の駆動トルクを配分することで、最大のドライビングダイナミクスを実現します。これは、同セグメントの競合モデルには見られない、新しい機能です。

相反する条件をクリア：シャシー

新型 Audi Q5 は、これまで相反するものと思われてきたシャシーの特性、すなわちスポーティさと優れた快適性を融合したハンドリングを実現しています。そのためのベースを提供しているのが、新開発された

5 リンクサスペンションと、同じく新開発された電動パワーステアリングです。速度及びステアリング切り角に応じてギヤレシオが変化するダイナミックステアリングも、オプション設定されています。

ドライバーは、2 種類のスプリング及びダンパー設定から選択することが可能です。ダンパーコントロール付サスペンションは、快適性重視あるいはダイナミクス重視の非常に幅広い設定を提供し、その選択はオーディオドライブセレクトを介して行います。新しいアダプティブエアサスペンションは、ダンパーの減衰力を変えられるだけでなく、車高も 5 段階で調整することができます。Audi Q5 3.0 TDI においては、これらの 2 つのシステム及びスポーツディファレンシャルの制御が、新しいセントラルシャシーコントロールユニットに統合されています。

全モデルに標準搭載されるオーディオドライブセレクトは、様々な車載モジュールと連携しており、ドライバーは 7 つの運転モードから選択することができます。そのうち 2 つの新しいモード、lift/offroad と allroad は、Audi Q5 のオフロードキャラクターを強化します。

新型 Audi Q5 は、17 インチアロイホイールを標準装着しています。design 及び sport の装備グレードでは 18 インチホイールが、S line sport package と Audi design selection では 19 インチホイールが標準となります。さらにオプションで、最大 21 インチまでの様々なホイールが用意されています。

新型 Audi Q5 は、メキシコに建設した新工場で製造されます。ドイツ及び他のヨーロッパ諸国では、2017 年初頭から販売が開始される予定です。ベース価格は、120kW 仕様/7 速 S トロニックを搭載した Q5 2.0 TDI quattro で 45,100 ユーロとなる予定です。

*本リリースは、ヨーロッパ仕様に基づく AUDI AG 配信資料の翻訳版です。